

女性デジタル人材育成支援事業【新宿区】

個別事業費	17,710 千円
交付金額	8,000 千円

地域の実情と課題

新宿区には他区と比べ多くの企業が存在し、昼間人口も多いことから、就業市場や雇用の流動性が高い。新宿区の産業構造として、新宿区の就業者総数に占める情報通信業の割合は特別区部、全国よりも高い割合となっている。また、25～54歳までの女性区民の未就業者は全体の11%も存在し、女性人口は平成12年～令和4年まで増加していることから、女性に対する就労支援が課題であり、需要も高い。就職への課題は個々の実情によって異なるため、引き続き個人に寄り添った支援を進めていく必要がある。

事業の特徴

デジタルスキルの取得支援のためのセミナーや研修の実施のみならず伴走型支援を行っていることが特徴である。具体例として、託児サービスやパソコンの貸出、就労情報のメール配信、個別相談を実施している。あわせて、マザーズハローワーク東京の紹介や連携セミナーを実施し、就職までの出口支援を行っている。

事業の効果

7年度目標として就職者数5名と設定していたが、結果として15名の方が就職に繋がり、109名の支援を行った。本事業の実施により、多くの女性デジタル人材育成に資することができた。

目的・目標

- 【目的】テレワーク・IT業界に興味がある、またはコロナ等の影響により離職し復職を目指す女性のデジタルスキルの取得を支援し、テレワーク等の柔軟な働き方による就労機会の創出をするとともに、個人に寄り添った伴走型の就労支援を行う。
- 【目標】就職者数5名
- 【実績】就職者数15名

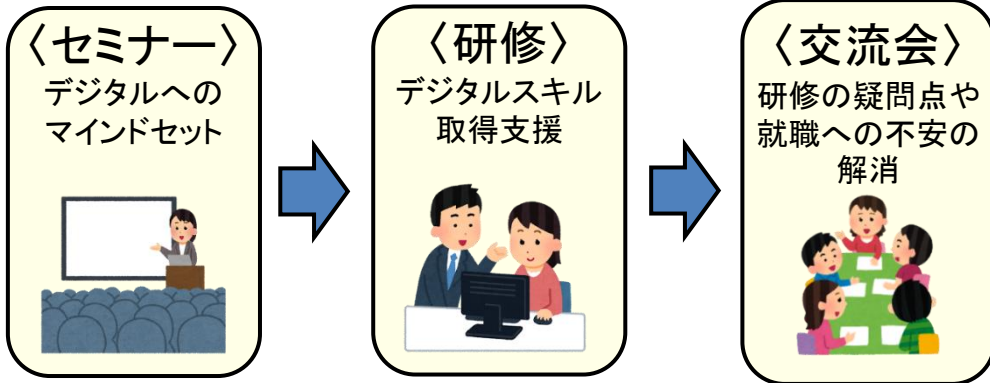
連携団体

マザーズハローワーク東京

今後の課題

7年度までは「デジタルスキル研修」「デジタルワーカー交流会」等を実施することでデジタルスキルの取得に対する支援を行ってきたが、デジタル人材育成の支援に留まっており、社会参画に至るまでの支援を効果的に行えていなかった。したがって、8年度は「ビジネスマッチングイベント(仮称)」を新規に実施し、企業と求職者が直接マッチングできる機会を設ける。これにより、企業の人材確保及び求職者の就業意欲の向上を図る。

デジタルスキルの取得支援



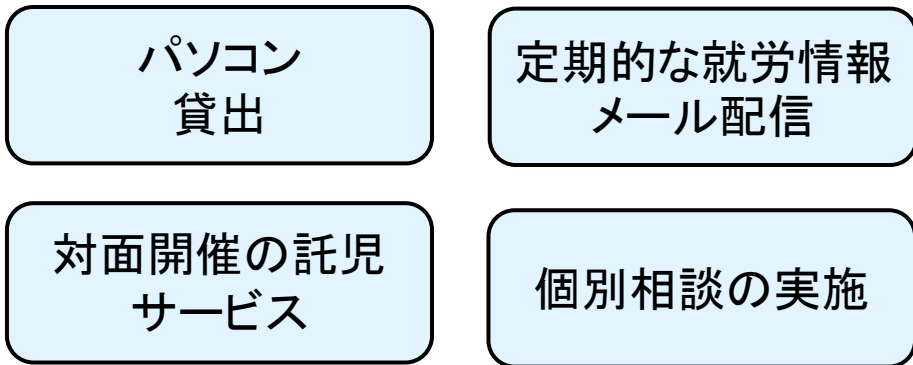
#01 | デジタル基礎セミナー
デジタルを学ぶ上での第一歩となる基礎知識を、初心者でも理解しやすいように解説し、実践的なスキルを身につけてもらうことができます。

#02 | デジタルスキル研修
ライフスタイルに合わせて選べる柔軟なコースを設定。スキルアップに合わせた学習スタイルを実現。スキルアップに合わせた学習スタイルを実現。

#03 | デジタルワーカー交流会
先輩デジタルワーカーと交流し、就職先や働き方に関する情報を得る機会を確保し、安心して就職活動を進められるようサポートします。

〈参考：7年度周知用チラシ〉

伴走型支援



- ・マザーズハローワーク
東京連携セミナー
- ・マザーズハローワーク
東京の紹介
- ・個別相談での模擬面接、
履歴書等の書類添削
- ・区が実施する
就労イベントの案内



就職に
向けた
出口支援